

# 京大リウマチ通信

第19号 京都大学医学部附属病院 リウマチセンター

2017.12.1 文責：伊藤

## ◆リウマチ患者さんの手指の変形◆

### 手指の変形はどのくらいおこるのでしょうか？

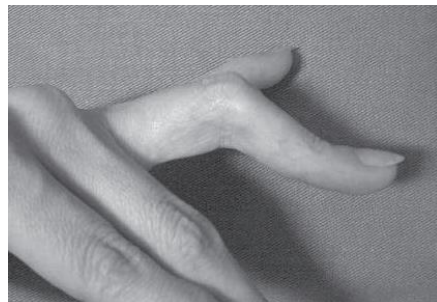
関節リウマチにとって、手指の変形は切っても切れない関係にあるやっかいなもので、関節リウマチという病気の特徴ともなっています。小さなものも含めると、リウマチ患者さんのほとんどの方に、手関節や手指の関節破壊があるとも言われます。そして一旦変形がおこると、原則的には元に戻りません。したがって、できれば変形する前に、治療をする必要があります。

### 手指の変形にはどんな変形がありますか？

関節リウマチの変形はさまざまです。有名なものとして、スワンネック変形とボタン穴変形があります。しかしこれ以外にも、尺側偏位（指が小指側に流れる）、親指のZ状変形（ジグザグ変形）など、さまざまな変形があります。しかし「見かけ」だけでなく、関節が固いが柔らかいかによっても使いにくさなどに大きな違いが生じます。



リウマチ手のさまざまな変形



実際のボタン穴変形

## 変形はどのように進むのでしょうか？

あるとき気が付いたら指が変形していた、という方はたくさんおられますが、実際には変形は急にはおこりません。少しずつ、日にちをかけて進んでいきます。典型的には、（関節が腫れる）→（関節が曲がる）→（隣の関節が伸びなくなったり曲がらなくなったりする）のように進んでいきます。重症になると、関節が固まって動かなくなったり（強直=きょうちよく）、ぐらぐらになってしまう（ムチランス変形）こともあります。



わずかな関節の腫れ → 第三関節の屈曲変形とスワンネック変形 → ムチランス変形

### 変形しないようにするための治療はありますか？

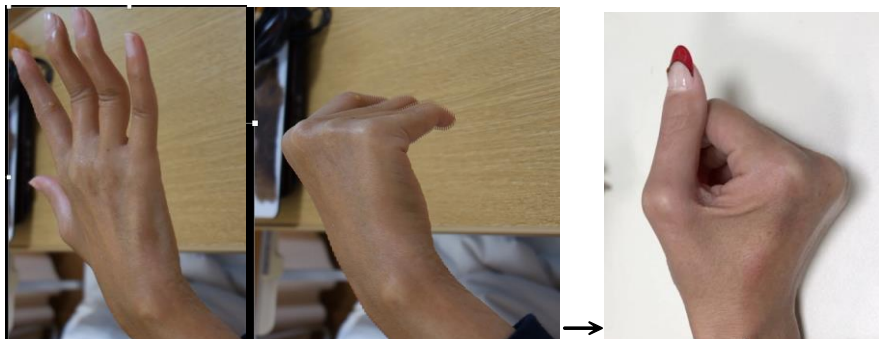
関節の腫れが変形の始まりです。痛みより腫れが重要です。痛くなくても腫れることがあるので、注意してください。腫れたら主治医の先生に相談して、腫れを引かせる治療を考えていただきましょう。もっとも重要なのは、今服用している内服薬や注射の治療を、しっかり継続することです。それでも腫れが引かない場合は、薬を増やしたり、変更することも考えていただきましょう。

薬をしっかり使っているのに腫れが引かない場合、また二～三個だけ関節が腫れているような場合は、薬を増やしたり変更することが適切とは言えないこともあります。その場合、関節に注射をすると効果的であることもあります。主治医の先生に相談してみましよう。

参考文献：「関節リウマチ」伊藤宣 他 著 骨の話シリーズ ミネルヴァ書房

## 変形してしまったら、元に戻らないでしょうか

場合は、手術が必要となります。手術の内容や治療期間は、変形によってさまざまであるため、リウマチ整形外科医の先生に相談する必要があります。少し特殊な手術法になるので、整形外科医の中でもリウマチ専門の先生に相談してください。



スワンネック変形の指は、曲げてもしっかり曲がらない → 手術後曲がるようになった

## 特に注意したほうがいい変形はありますか？

特に注意したほうがいい変形として、「急に指が伸びなくなる変形」があります。「関節が曲がって伸びなくなる変形」はよくあるのですが、この場合は、「急に」伸びなくなるのと、「反対の手で伸ばそうと思えば伸びる」のが特徴です。この場合、関節変形ではなくて、腱が切れている可能性が高いです。関節変形がないので、腱さえつなげば、元のように動かせるようになります。「手首が痛くて腫れているなと思ったら、ある日突然指が伸びなくなって、それから手首が痛くなくなった」ような場合は、主治医の先生に急いでそれを伝えましょう。



指を曲げることはできるが



伸ばそうと思っても伸びない

## 第19回リウマチ教室のお知らせ

今回は、2017年4月から京大病院リウマチセンターに勤められている西谷江平先生による「**リウマチ患者さんの膝の痛みに対する治療～保存療法と手術療法～**」のお話です。

関節リウマチにとって、膝の痛みや変形は、もっとも多くおこって、もっとも不自由が強い障害の一つです。どのようにしていったらいいのか、西谷先生から詳しく説明していただきます。

ぜひ、ご参加ください。

日 時： 平成30年1月31日（水）  
午後3時開演（午後2時半開場）  
場 所： 会議室 A  
（外来棟5階）



受付時間

午前8時15分～午前11時00分

診察室	月	火	水	木	金
108室	橋本	村上	田中	橋本	田中
109室	西谷		村田/伊藤	伊藤	村田（第2・4）
110室	山本				

リウマチに関するご質問、「リウマチ通信」や「リウマチ教室」で特集してほしいテーマがありましたら、外来主治医または外来秘書にお気軽にお申し出下さい。

お問い合わせは…

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター  
代表電話 075 (751) 3111 予約電話 075(751) 4891  
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

